

コンセプト

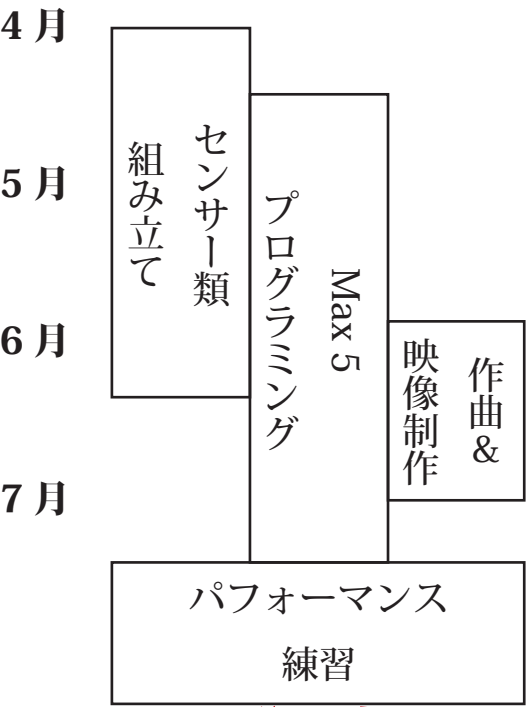
「1人の力の全力を出し切り、応援する。」

今、人々は元気を取り戻さねばならない。
広い目見れば、震災での被害に苦しむ方々、
もっと身近な事柄では、週活の荒波に飲まれそうになる我々大学生、
そして総合演習Ⅰをしょっぱい結果に終わらせてしまった自分自身。
それらの人々の元気と活力を取り戻すため、
これまでとは一歩踏み出した作品を作りたい。
特定の誰かを応援する訳ではないが、見る人に強い熱気を感じさせ、
頑張る活気と勇気を取り戻させるような、アツい応援をしたい。
また、その体験を自分以外の人にも体験できるカタチにして、
誰もが全力で応援したくなるような、楽しい作品でありたい。

使用ツール

- ソフトウェア
Max 5、GarageBand、(AfterEffects、 3ds Max)
- ハードウェア
PC、スピーカー、プロジェクター、モニター、Gainer、
センサー (加速度、圧力、曲げ、etc...)、
マイク、衣装 (古着屋などで調達)、プラスチック

制作予定表



8月 発表

ひとり応援団

仕組みの説明



4つのセンサーを体に装着

- 手：加速度センサー
- 肘：曲げセンサー
- 足：圧力センサー
- 口：マイクロフォン

場合によって、ワイヤレス通信
でPCに入力する（検討中）

たった一人でも
応援団のように、
迫力ある応援ができる！

によって

アクションによって、様々な効果音を出す！

例：拳を突き出す → 大太鼓の音（大きい）



例：肘の曲げ伸ばし → ホイッスルの音

例：足を強く踏み込む → シンバルの音

さらに

背面の映像に特殊な効果をもたらす！

- 例：映像に波紋が現れる、画面が揺れる
- 例：声の大きさに合わせ、押忍の文字が大きくなる
- 例：大太鼓の音に合わせ、花火が出る

アクション

既存の応援団の動きから様々なものを抜粋し、
パフォーマンスとしてメリハリのつくものを
アレンジして編成する。



映像と音楽

SUAC ならではの応援を

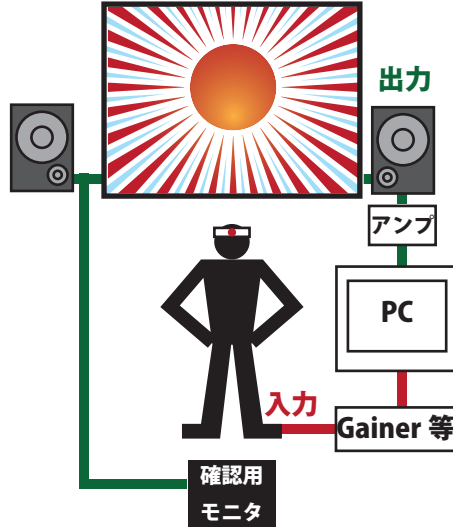
第二部（右下参照）では、
オリジナル音楽に合わせて応援する。
背景には、センサー入力によって
リアクションする映像を投影する。

3Dのシルエットの人間キャラクターと、
2Dのイラストが動き回るようなものを
構想中（要検討）



音楽ゲーム風のガイドを出して、
体験者が音楽に合わせて応援できるようにする

システム図



発表の内容

- プレゼンテーション 5分
- 第一部 普通の応援 1分
(システム、機能の
デモンストレーション)
- 第二部 本気応援 約2分
(音楽と映像とを合わせた
パフォーマンス)